

事業名

藤袴香る歴史・文化・伝統 の町づくり

実施団体

源氏藤袴会

絶滅危惧種の京都市自生種藤袴の保全育成を通じ、京都の歴史・文化・伝統が息づく地域特徴を生かした祭やスタンプラリーを行い藤袴の定着を図ることを目指します。

① 藤袴祭の開催



藤袴祭

香りが街を包む

ふじばきまつり

- 十月十日(火)から十月十四日(土)まで、藤袴祭の期間中、本会事務局にて「藤袴祭」の開催情報を発信いたします。



藤袴祭

香りが街を包む

ふじばきまつり

寺町通りに藤袴が並び始めて3回目の秋になります。今回は丸太町通にも広がりを見せ、夜のプロムナードもお楽しみいただけます。又、奉堂行願寺では西国三十三所草創1300年記念に伴い、ご福も深い源氏物語ゆかりの藤袴が境内に展示され、平安京の花風情を再現します。花に誘われてやってくるアヤギマダラ(海を渡る蝶)にも出逢えるでしょう。散策やお買い物の際、藤袴祭をお楽しみください。

開会式は奉堂行願寺で、二胡の演奏会が盛り上げます。
10月12日(木)、10時30分、藤袴が咲き誇る境内にある講堂で始まります。引き続き日時から、園奈史子氏による二胡の演奏会が軽やか、美しいひと時で藤袴祭を彩ります。(入場無料、定員になり次第締め切ります。)

羊堂茶屋と藤袴グッズ、和の花木市も。
10月13日(金)、14日(土)には、和菓子の原型とよばれる平安時代の菓菓子と紙菓子がふるまわれる茶屋が奉堂行願寺境内に開かれます。(月命初志)又、藤袴の香気・アロマ水、藤の畑の札やポストカードなどの販売や、京都市緑化協会との協力で菊竹等が珍しい「秋の花木市」も立ちます。13日(金)には、華道家西村良子先生による秋の七草を扱うワークショップが開催されます。

スタンプラリーで地元の文化遺産を散策しよう。
藤袴の育りに使えながら、地元の文化、歴史に触れてみよう。
奉堂行願寺→下御堂神社→洛陽院→高島会館→京都市歴史資料館→道賀神社→東山寺→龍山園書道山吹本明堂の9会場。参加費「紙の願い」に願い事を書いて奉堂行願寺へ奉納。お返ししてもらいましょう。

10月7日(土)の初日は「華能ふじばき鑑賞寄席」でスタート!
前年を引き続き奉堂行願寺では、柱取波、社二表のお囃で初日を飾ります。水戸銭¥2000。詳しくはホームページをご覧ください。 info@genjifujibakama.com

<特別企画>歴史・文化・伝統を継承する地元偉人探訪
旧日小学校校舎に歌われた額山先生、森島真先生の自宅へ地元学童を招き、歴史や文化を学びます。「額山編書道山吹本明堂」は20名、「新島義行宅」は50名、大人の参加も可能です。詳しくはホームページをご覧ください。 info@genjifujibakama.com

会員と藤袴育成サポーターを募集!
20年前に西京区大塚野で、絶滅危惧種とされた藤袴の京原種生種が発見されました。その後、XBS京都のキヤンペーンで拡がりを分ち、言葉の藤袴を守り育てながら、年に一度、藤袴祭が開催されます。広域に参加していただきます。詳しくはホームページをご覧ください。

協力：京都府歴史資料館 同志社新島会館 日本書道院西京会館 洛陽院書道院 清水藤袴地学文庫 下御堂神社 梨木神社 天台宗京大木山道山寺 日経額山園保存会 上京区役所 中京区役所 藤袴祭の会 永福草履会 なんやかんや大原野地産物協会 泰山園プロジェクト 道賀神社の会



主催：源氏藤袴会 後援：京都市 京都市緑化協会 KBS京都府 共催：(園)寺町会 奉堂行願寺 京都市上京区歴史民俗学習センター 香日・新島会館西京地産物協会

info@genjifujibakama.com

